

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



「引きこもり」の方々への温かい支援を 施策の狭間にある40~50歳代

世の中捨てたもんやない
ひとりぼっちを作らない

「引きこもり」の取組みはとってもデリケート。強制されてはいけません。しかし、きっかけはとても大切です。

普通の人が、ちょっとしたきっかけで引きこもってしまう。

もちろん、不登校から・・・という方もあります。

私の相談者は就職後・・・の方が多いですね。

一度引きこもると中々社会との接点が見つからない。

昔なら「その人をまるごと受け入れて」くれる場所があちらこちらにありましたが、今はほとんどありません。

雇用の在り方も希薄になっていたり、成果主義だったり・・・。

人間性を取り戻す居場所がいります。

引きこもっている方で「外に出たい」「仕事がしたい」と思っておられる方はたくさんおいでです。

そんな方へのきっかけづくりです。

「世の中って捨てたもんやないよ・・・」これが私のメッセージです。

ひとりぼっちにならない
ひとりぼっちをつくらない

「公契約条例」の制定、労働者の育成支援については来月号に掲載

増える若者の引きこもり ったケースなど、「恥ずかしい」「迷惑をかけられない」などの理由で、日頃はだま「引きこもり」が増えていって悩んでいる方がたくさんおられます。

川西市の「平成23年度 ところが、内閣府の定義で若者の意識、実態アンケート調査」によると、19歳以下。40歳超の「引きこもり」の人は66人に1人はありませぬ。

引きこもりに近い「ひきこもり親和群」は16人に1人とされています。

まずは、実態把握を

市は現在、「若者」施策への計画作りを進めています（現在パブリックコメント中、1月11日(金)まで）。

深刻な高齢者のひきこもり

私(黒田)のもとにも相談が寄せられますが、このところ増えているのは40歳代50歳代のひきこもりの方々。高齢の親が「実はうちの子どもが・・・」とい

現在「引きこもる」この表面化していかないけれど、親の高齢化や死亡により支援者がいなくなれば深刻です。

介護サービス受給者や提供者と連携したり、地区福祉委員会とのネットワークを強化し、「引きこもり」実態を把握し、課題解決に向けた取組みをすること。

市として、総合的な相談窓口や専門家の支援、就労相談・支援を含めて、具体

こどもを守れ!

福島原発事故から1年半の11月11日。国会・霞が関周辺での「反原発100万人大占拠」行動に呼応して、「今すぐ原発ゼロへ 全国いっせい行動」が川西能勢口アステ2階通路でも行われました。雨の中でしたが、午後1時から5時まで、たくさんの方が順番にマイクを握って訴え

「原発ゼロ」を求める国会請願署名は135筆集まりました。私(黒田)も「NO NUKES」手作りタスキをかけて参加しました。



NO NUKES

的な場所をつくることなどを提案しました。

気軽に相談できる窓口を

「特化した窓口はないけれど、相談に来られたら十分相談にのる」という答弁でした。気軽に相談できる窓口、社会とつながる仕組み、居場所作りが急務です。

神戸

マラソン

初めてのフルマラソン楽しかった(´ー´)



黒豆の声

公約をことごとく裏切った民主党政権への怒りと批判が表れた選挙結果となった。

投票率は戦後最低の59.23% (前回比約10%減)

民主党は大敗。「大勝」の自民党も比例区で前回比219万票減らし、得票率はわずか27.3%。小選挙区も166万票減少した。

ところが、小選挙区は300議席中79%の237議席を獲得し、大勝に。「民意」を切り捨てる小選挙区の弊害があらわになった。

たくさんの方々が生まれ、くっついては消えていく。昨日言ったことと、今日言っていることが違う。何を基準に投票すればいいか。「よくわからない」「入れた人に責任が持てない」「TVや新聞の報道はとっても怖い」。疑心や不安の声が、相談している方々。白票も多かったようだ。

日本共産党は残念ながら、直近の参議院選挙より得票数・得票率とも伸ばしたけれど1議席減の8議席にとどまった。

さて、国民が選挙後取り組んでほしいこと。第1位は経済対策、第2位、社会保障、第3位、原発・・・。

やっぱり。訴えてきた事と同じ。政党助成金も企業・団体献金も貰っていない日本共産党。

国民の立場に立ち切った政策を訴えることができる。

胸をはって・・・納得しながら選挙の報告を兼ねて外へ飛び出す。

マスメディアは総選挙の開票を受け、いっせいに「自公圧勝」などと報じています。確かに議席の上では、自

民294、公明31で両党合わせて衆院の3分の2以上を獲得しました。しかし、民意の実際を見ると一。



総選挙 共産党8議席獲得

潮流

怒りの爆発でした。新しい政治を託されながら、その期待をことごとく裏切ってきた民主党。現役閣僚や党の顔が次々と敗北、落選。国民から強烈なしっぺ返しを受けました▼だからといって大勝した自民に国民が安心して委ねたわけではないでしょう。

彼ら自身、信任を得られたとは思っていない、というのが事実。実際、大敗した前回から得票数を減らしながら、今度は大勝。4割の得票で、8割の議席をもたらす小選挙区のおかげです▼多党が乱れ立ち、マスメディアが盛んに自民か民主か第三極か、とあおった今回の総選挙。期間中

も議席予想で世論を誘いました。残念ながら日本共産党は1議席の後退。しかし、2年前の参院選よりも支持を増やしました▼もちろん、期待された方々には歯がゆい結果となりました。どんな風が吹いても切れない、国民のきずなをどう築いていくか。前進への大きな宿題です▼新しい

政治を追い求める国民の模索は今後もつづくでしょう。近所の投票所では広報紙や掲示板を真剣に見つめ、最後まで迷う人々を自にしました。大勢が棄権して、戦後最低の投票率を記録したことに、それは表れています▼消費税増税や原発依存、TPPへの参加…。早晩、展望なき自民党の古い政治がゆきづまるのは必至です。「これから安倍政権ができ、憲法9条のこと

でも、経済のことでも、悪政を進めようとするだろう。そのなかで共産党が絶対に光

てくる。ふんばってほしい(50代、京都の男性から)

■衆院選党派別当選者数 (2012年12月16日投票)

	新議席	公示前(欠員)	前回	小選挙区	比例代表
日本共産党	8	9	9	0	8
自 民 党	294	118	119	237	57
民 主 党	57	230	308	27	30
日本維新の会	54	11	—	14	40
公 明 党	31	21	21	9	22
みんなの党	18	8	5	4	14
日本未来の党	9	62	—	2	7
社 民 党	2	5	7	1	1
国民新党	1	2	3	1	0
新党大地	1	3	1	0	1
新党日本	0	1	1	0	—
新党改革	0	0	—	—	0
諸派・無所属	5	9	6	5	0
合 計	480	479	480	300	180

自公圧勝と言われるが...

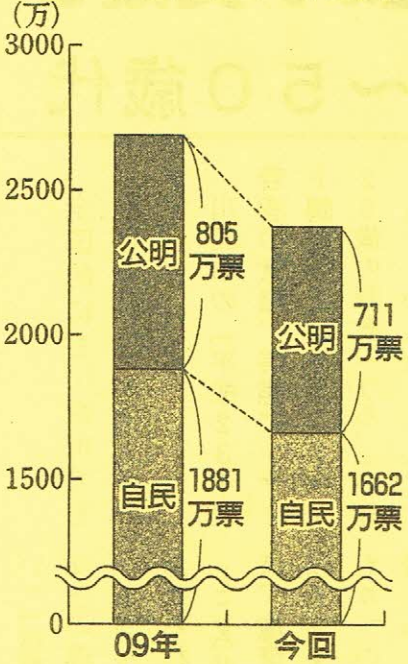
比例は自219万減、公94万減

09年比

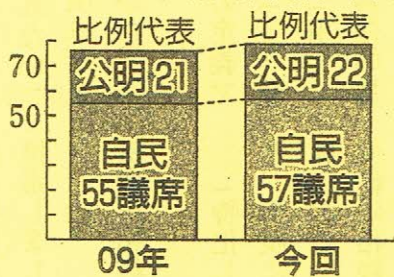
民意をもっともよく反映する比例代表でみると、国民から「自公政権」の厳しい審判を受けた2009年衆院選よりもさらに自民は219万票減、公明も94万票減りました。つまり、「民主もダメだつまずき、自民もダメだつまずき」の民意が、比例で見れば率上がり、比例で見れば

議席で微増にすぎません。また完全に信頼が戻ったというわけではない。3年間の民主党の政治の混乱に対して「ノー」という結果だといわざるをえません。た。国民に信任されたとは、とてもいえない結果です。

2009年総選挙と今回の比例代表の得票数

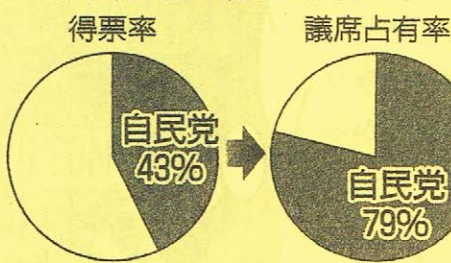


2009年総選挙と今回の比例獲得議席数



信任されたとはとてもいえない

自民党の小選挙区での得票率と議席占有率



選挙戦で自民党は争点を覆い隠す姿勢に終始しました。民主、公明両党と消費税増税の合意を結んで法案を

得票減なのに大量議席

小選挙区での欠陥あらわ

自民が大きな議席を得たのは、比較第一党が議席を独占できる小選挙区制の影響です。自民は小選挙区でも前回比166万票減らして得票率は43%なのに、議席占有率は79%にもなりました。民意を大政党本位にゆがめる小選挙区制の欠陥を示しています。自公両党の「圧勝」は、民主党の公約破りによる「敵失」と、選挙制度に助けられたことで